

広報



おおぞら

7

2014年
(平成26年)
No.717
月号

04 特集

三沢高校のボランティア活動

CONTENTS

- 02 Photo Pick Up アメリカンデー
- 10 トピックス
- 12 市政の動き
- 18 マックチャンネルガイド
- 20 出来事通信
- 22 情報ねっと
- 32 三沢魂



おおぞら小学校の田植え

5月26日 / おおぞら田

昔ながらの手作業で苗を植えたおおぞら小の児童たち。
仲間と泥だらけになりながら食べ物を作ることの難しさ、楽しさ、
大切さを学んだこの日は、かけがえのない大切な思い出。



Photo Pick Up



三沢アメリカンデー 2014

6月1日、米軍三沢基地のゲート前周辺やアメリカ広場、公会堂、総合体育館、中央公園および周辺の幹線道路を会場に、「三沢アメリカンデー 2014」が開催されました。

主催者である三沢国際クラブと三沢市に米軍三沢基地が全面協力し、日米のボランティアスタッフも多数参加。迫力のハーレーダビッドソンや儀仗隊など盛大なパレードに続き、「四半世紀続く日米友好関係によって私たちが共有する絆は日米友好の素晴らしい手本。共に手を携えて頑張りましょう」との言葉で三沢市最大の国際交流イベントが始まりました。オープニングセレモニーの中で、種市市長と米軍三沢基地のウィリアムス司令官はこれまでの歴史を振り返り、互いに敬意と感謝の言葉を贈った後、固く握手。市内外から訪れた9万人を超える来場者は、本場のアメリカンフードやステージライブ、ダンス、スポーツなど、アメリカ文化を心ゆくまで楽しみ、国際交流の輪を広げていました。



三沢高校のボランティア活動には、ボランティア部とボランティアバンクの2つの組織がある。まず、前者のボランティア部は部活動の一つで、現在34人の生徒が所属。毎週金曜日放課後に同校周辺の清掃活動を実施し、文化祭ではチャリティーバザーを開催するなど、日常的にボランティア活動を行っている。

もう一つのボランティアバンクは「全校生徒がボランティア活動に参加できるよう登録制の組織。事前に登録しておき、日程さえ調整できれば、他の部活動に入っている生徒も希望するさまざまなボランティア活動に参加でき

る。三沢高校のボランティア活動には、地域や団体などからボランティア活動の依頼があつた場合、学校はボランティア部とボランティアバンク登録者に募集情報を提供し、希望する生徒が申し込む。平成25年度には計42件のボランティア活動を行っており、延べ382人の生徒が参加。年々、登録・参加人数は増加している。また、本年5月からは、全日制の生徒に加え、定時制の生徒も一緒に活動を始めた。

同校が取り組むこれらのボランティア活動は、困っている人を助けるだけでなく、生徒を人間的に成長させ、職業経験を生徒に与え、地域との交流によって互いに活性化する相乗効果を生んでいる。

三沢高校のボランティア活動

▼病院ロビーを会場にするため、いすを動かす三沢高校生



▲車いすを押して、入院患者さんの会場への移動を補助

特集

三沢高校のボランティア活動

「誰かボランティアで手伝ってくれる人はいないものか。そんなときにたどり着いたのが、県立三沢高校のボランティア活動だった。同コンサート実行委員会の依頼を、当時の校長が快く承諾。三沢高校のボランティア部員およびボランティアバンクの希望する生徒が2回目のコンサートからボランティアスタッフとして参加した。

(32頁に関連記事掲載)

癒やしの演奏会を支えた存在

市立三沢病院を会場に、入院患者と家族、地域の人々の心を少しでも癒やそうと、毎月開催され続けている『三沢病院ハートフルコンサート』。今から3年前、わずか数人の発起人で始まり、出演者・スタッフ共にボランティアで参加。しかし、開催当初から、ボランティアスタッフの不足に悩まされていた。

生徒たちが行うのはコンサートの会場設営や運営補助。普段は待合場所となつている1階ロビーを聴衆席にするため、重い長いすを動かし、来場者にはコンサートのプログラムを配布。車いすを押すなど、体が不自由な患者の病室から会場への移動を補助する。こうして三沢高校の生徒たちは、3年間ほぼ毎回、延べ約300人が参加し、コンサートを支え続けてきた。

5月25日に催された3周年記念コンサート。実行委員会の成田会長は、継続には患者さんたち聴衆、出演者、スタッフとともに三沢高校の生徒たちが不可欠だつたと語り、感謝。最後には、出演者と来場者、三沢高校ボランティアを含むスタッフが合唱し、心を一つにした。

三沢病院ハートフルコンサート 5月25日

3周年を迎えた記念すべき『251歳コンサート』。フルート奏者の濱岡敬三氏、実行委員会会長の成田俊太郎氏、ピアノ奏者の菅原紀子氏、ソプラノ歌手の畠井繁子氏が出演し、その年齢の合計がタイトルの由来。各出演者がバラエティに富んだ曲を披露する中、成田氏もトロンボーンを演奏。最後は畠井氏の美しいソプラノに合わせて、出演者と来場者、三沢高校生らボランティアを含むスタッフが心を一つに合唱した。



▲ハマナスの苗を被災地に植える

▲出店の焼きそば作りを支援

▲照明係としてステージを支える



仏沼クリーン作戦

国際的絶滅危惧種に指定された野鳥をはじめ、多くの貴重な生物が生息するラムサール条約国際登録湿地、仏沼。仏沼周辺の環境を守ろうと活動を続けるNPO法人『おおせっからんど』が7年前から毎年実施する水辺広場の清掃活動に、三沢高校の生徒26人と在日米海軍30人が参加した。清掃活動後、『おおせっからんど』メンバーに案内され湿地帯に移動した参加者は、野鳥を観察。貴重な野鳥たちの姿を見、鳴き声を聴いた三沢高校の生徒たちは「貴重な体験ができました」と感想を語っていた。



- 1 道の駅で仏沼の説明を受ける三沢高校の生徒ら
ボランティア参加者
- 2 3 水辺公園に落ちているごみをていねいに拾う
- 4 茂みに分け入り、熱心にごみを拾う三沢高校生
- 5 湖に足を入れ、沈んでいた空き缶も收拾
- 6 NPO 法人おおせっからんどのメンバーらと、
湿地帯に生息する野鳥を観察

な世代の初対面の人に声を掛けることは勇気がいる。しかし、三沢高校の生徒たちはボランティアスタッフとして、臆することなく笑顔で積極的に声を掛け、コミュニケーションをとっていた。

とはいっても、中には自分から声を掛けたり、うまく接することのできない生徒もいる。見兼ねた館スタッフがアドバイスすると、その生徒は自分で考えながら、次第に声の掛け方、話し方を身に付けていった。活動後、参加した生徒が学校に提出する感想の多くには、反省や次回の目標が書かれているという。ボランティア活動の中で失敗や成功、反省を繰り返すことで、彼らは学校だけでは得ることのできない知識や経験、コミュニケーション力などさまざまな力を身に付け、成長している。

また、仏沼クリーン作戦に参加した生徒の一人は、ボランティア活動によつて水辺公園や仏沼を初めて訪れた。直に聴くコジユリンなど貴重生物の鳴き声、肌で感じる三沢の自然環境。さらに、仏沼の管理が市役所の仕事であることを知るなど、ボランティア活動は地域や職業を知る機会にもなっている。



寺山修司記念館フェスティバル

寺山修司記念館で毎年春と夏に開催されるフェスティバル。その中でも、特に子どもや親子連れに人気なのが体験型展示『ムシムシコロコロパーク Jr.』。三沢高校ボランティア部・ボランティアバンクは、3年前からボランティアスタッフとして同イベントに参加。遊び方がわからない来場者に声を掛け、けがをしないよう安全面にも配慮。来場者と一緒に楽しみながら、コミュニケーションの取り方を実践的に学んでいる。
(画像は体験型展示を室内で実験する三沢高校の生徒たち)

(画像は体験型展示を案内し、体験を支援する三沢高校の生徒たち)

例えば、寺山修司記念館フェスティバルでは、来場者に体験型展示を案内し、体験を支援。安全にも配慮しながら、展示の魅力を伝える大切な役割を果たしている。大人には大人と、子どもには子どもと目線を合わせ、「一緒に遊ぶ」姿勢で接する彼らのコミュニケーションによって、生き生きとイベントを楽しむ来場者の姿が多く見られた。

3日間開催された同イベントの総来場者数は約1800人。高齢者から幼児まで、多くの人々が訪れた。同年代の友人や学校・家族など、限られた範囲で生活することの多い高校生にとつて、さまざま

「彼らがいなければコンサートを続けられなかつた」。三沢病院ハートフルコンサート実行委員会の成田会長が、不可欠な存在と語つた三沢高校ボランティア部・ボランティアバンクの生徒たち。彼らは他にも、地域のさまざまな場所で、年間を通じてボランティア活動を続いている。



三沢高等学校ボランティア部 顧問

今 まさ恵 先生



いろいろな世代の方とコミュニケーションをとったかったのが参加のきっかけ。地域でのボランティア活動は初めてで、お年寄りの方が何を話しているか分からず、もっと頑張らないと思いました。もっとたくさんの人と関わって、コミュニケーションをとっていきたいです。

将来は学校の先生になりたいと考えていて、子どもとの接し方を学びたいと思い(寺山修司記念館フェスティバルに) 参加しました。大人から子どもまで幅広い世代の方と接して、それぞれの目線で会話をすることの大切さを知りました。

自然科学部に所属しているのですが、これまで三沢市に住みながら、仏沼を訪れる機会がありました。仏沼クリーン作戦に参加して、実際に地元三沢にいる貴重な生物の姿を見たり声を聴いたりすることができてよかったです。

三沢高校ボランティア部・ボランティアバンク参加者の声

三沢市ボランティアセンター

ボランティア活動を広く呼び掛けるとともに、活動推進のためのさまざまな支援を行っています。興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

問い合わせ先

三沢市ボランティアセンター
[三沢市社会福祉協議会内] (☎ 53-3422)

【特集】三沢高校のボランティア活動 完

積極的な行動と反省を繰り返し、生徒たちは成長しています

ボランティア活動では、初対面の人や幅広い年代の人々と交流する場面が多く、コミュニケーションをとる力が身についていくのではないでしょうか。また、さまざまな職業の一部に触ることは、生徒自身の進路活動に影響を与え、その職業や社会を知る勉強にもつながっているようです。

活動後に提出される感想文から知ったのは、生徒たちは私が思うよりも積極的だということ。活動を振り返り、「できなかったことを次回にはできるように」と思っている生徒がすごく多い。自分がたくさん動いた分だけ交流する場面は増えます。その行動を反省し、次回の活動に生かす。それを繰り返すことで生徒たちは成長しています。

そして、この活動ができるているのは、地域の方々による力がとても大きいと感じています。学校の事情にもご理解をいただき、活動の機会を提供してくださる。地域の皆さんとの協力があって続けられています。特にボランティアバンクは多くの生徒がボランティア活動に参加できる制度。継続しつつ、活動の幅を広げていきたいと思います。

地域の人たちと交流できる活動にしていきたいです

私は入学時、保育士を目指していて、保育園でのボランティア活動が役に立つのではと考え、ボランティア部に入部しました。ですが、さまざまな体験を通して考え方を変わり、今は、将来は理学療法士になって病院に勤めたいと考え活動しています。患者さんや医療関係者と接することのできる三沢病院ハートフルコンサートには、ほぼ毎回参加。障害者施設における支援活動も私にとって新鮮であり、学ぶことが多いです。私にとってボランティア活動とは、単に人に言われたことをするのではなく、やりたいこと、興味のあること、将来役に立つと思うことに自分から積極的に取り組むこと。三沢高校のボランティア部ですから、三沢の地域に密着した、地域の人たちと交流できるような活動にしていきたいと思います。



三沢高等学校ボランティア部 部長

中村 祐子 さん(3年)



車いすの患者さんが不安そうにしていたので声を掛けたら「部屋に戻りたい」とのことでした。勇気を出して声をかけてよかったです。この経験は今後に生きると思います。優しくて患者さんとうまくコミュニケーションがとれる看護師になれるよう、もっとたくさんの仕事を知り、体験したいです。

保育園では、保育士の方に子どもとの接し方を教えていただきました。将来は教育関係の仕事に就きたいので、すごく勉強になりました。ボランティア活動の経験を生かして、自分から進んで社会貢献できるようになります。

いろいろな世代の人と関わることに興味があり、特に人生の経験を積んだ高齢の方から、自分が生きる上で力になることを学びたいと思い参加しています。人の役に立てるることはうれしいですし、関わっていて楽しいです。就職しても人と関わりはあると思うので、この経験を生かしたいです。

しかし、ボランティアは単なる奉仕活動ではない。「ボランティア活動とは何か」という問いに、挙げられる大きな条件は『自発性』『無償性』『公共性』の3つ。経済的利益を追求せず、自ら進んで行う、社会に役立つ活動を指す。三沢高校の活動はまさにボランティアで、彼らは労力や時間を使っているだけではない。「自発性」「無償性」に知識や経験を得たい」「コミュニケーション能力向上させたい」「人の役に立ちたい」など、彼らには個々にその活動によって達成したい目的や思いがあり、自らの意志で進んで活動している。土にまみれ、汗を流し、ときに失敗しながらも自分の頭と体で直に得た知識と経験は、彼らの人生における大切な財産だ。

平成7年に起きた阪神淡路大震災では、救援活動や復興支援に、多くのボランティアが参加。「ボランティア元年」と言われるこの年以降、ボランティアの重要性は増した。また、時代とともに人々のニーズは多様化。行政だけでは応えることが難しくなり、無償の協力を求める声が多くなった。

地域のために、自分のために

市農業委員の三田節夫氏が旭日単光章受章

6月5日

三田節夫氏は昭和62年7月に市農業委員に初当選して以来、現在まで9期連続、25年以上にわたり農業委員として活動。平成11年7月からは会長職を4期12年間務め、農地法令の適正な運用に尽力し、優良農地の確保・保全および有効利用など地域農業振興に寄与してきました。また、会長在任中、県内農業委員会でも先駆けて女性農業委員を登用し、組織を活性化。さらに、担い手育成や農地パトロールの徹底によって、耕作放棄地など農地遊休化の防止に貢献してきたとのことです。

その長年にわたる実績が認められ、三田氏は今年5月に旭日単光章を受章。6月5日、市長室を訪れた三田氏とキミエ夫人は、氏を讃え祝福する種市市長らに「本当にありがとうございます。皆さまのおかげで受章することができました」と感謝の思いを伝えました。



▲キミエ夫人とともに種市市長へ受章を報告する三田節夫氏（中央）

海岸防災林の記念植樹に地元児童が参加

6月11日

東日本大震災の津波によって被害を受けた松林を元の姿に戻そうと、四川地区浜通りで開催された植樹会に、三沢小学校の4年生児童58人が参加しました。

主催者である東北森林管理局三八上北森林管理署の佐藤署長から松林の歴史や役割、地域との関わりなどその大切さを学んだ児童たちは、2,200m²の用地にクロマツの苗木500本を植樹。一生懸命植えるその姿に、大人たちは「みんなと一緒に育つ松をまた見に来てね」と声を掛け見守っていました。全ての苗木を植え終わると、「松が大きく育ちますように」と太平洋に手を合わせ祈る児童も。佐藤署長は「先人が作ってきた松林を、ぜひ子どもたちに受け継いでほしい。それが我々の願いです」と話していました。



別部辰哉氏が人権擁護委員に再任しました

6月30日

三沢市の八戸市の人権擁護委員であった別部辰哉氏が、6月30日付けで任期満了となり、さらに再び同委員として任命されました。別部氏は引き続き、平成29年6月30日までの3年間、地域の皆さん的人権に関する問題解決のお手伝いや啓発活動などを行います。



『フェリーチェ』が小川原湖畔で清掃活動

6月4日

三沢市雇用創造推進協議会が主催したセミナーの一部受講者が集まり、昨年結成した市民グループ『フェリーチェ』。現在8人のメンバーは、講座を開設するなどして自ら資金を調達しながら、補助金に頼ることなく地域活性化のための活動を続けています。その一つが、2回目となる小川原湖畔での清掃活動。湖で遊ぶ人々が気持ちよく楽しめるようにと広い湖畔を練り歩き、飲食物の容器やビニール袋などのごみを拾い集めました。

同団体のメンバーの多くは、三沢市や八戸市に住む既婚女性。活動の根本には「主婦や転勤で移住してきた女性が特技や能力を生かして活躍できる場を作り、ゆくゆくは雇用創造や三沢の発展につなげたい」という思いがありました。「メンバー同士が意見を出し合い活動内容を決めるので、みんなが主役です」と話すのは同団体の代表を務める蛭名さん。「私たちの活動で、少しでも地域が潤ってくれれば」と、さらなる活動への意欲を語っていました。



▲地道な作業の中にも持ち前の明るさと団結力を見せるメンバーたち

青森銀行松友会がワークランドつばさへ寄付

6月12日

青森銀行松園町支店松友会の川守田会長らが、就労継続支援B型事業所『ワークランドつばさ』を訪れ、5万円を寄付しました。松友会は青森銀行松園町支店の職員ら約80人が加入する後援

会で、平成9年から毎年寄付を継続。この寄付金は、同事業所で自立した生活を送るための職業訓練や支援を受ける、知的障害者たち利用者の福利厚生に使われるとのことです。

◀芋田所長に寄付金を手渡す川守田会長（左）



東北電力職員が地域イベント前後にボランティアで清掃活動

5月30日

米軍三沢基地第35戦闘航空団司令官 ウィリアムス大佐が一日市長を体験

5月29日

市と米軍三沢基地のさらなる友好親善交流を図るため、米軍三沢基地第35戦闘航空団司令官のスティーブン・ウィリアムス大佐が一日市長を体験しました。種市市長から委嘱を受けたウィリアムス大佐は、（仮称）国際交流スポーツセンター整備についての事業報告を受け、記念品として受け取った印鑑で市長決裁欄に押印。その後、親善大使として任命されたホリー夫人とともに市役所庁舎内を回り、担当課長などから業務内容の説明を受けながら、職員が勤務する様子を視察しました。また、市長応接室で開かれた臨時庁議にも出席。議題に挙げられたグローバル人財養成セミナーの事業計画と漁協事務所の移転について、各担当部長から報告を受けました。

一日市長として全ての仕事を終えたウィリアムス大佐は「皆さんの真摯なるお仕事一つ一つが、三沢市をよりよくしていると感じました。また、三沢市民でもある私たちが、皆さんの努力のおかげで快適に楽しい生活ができていることを実感できました。皆さんのご苦労を側面からでも見ることができ、うれしく思います」と話し、一日市長の機会を与えてくれた種市市長に感謝。種市市長もまたウィリアムス大佐とホリー夫人を労い、「三沢市を理解していただき、友好関係を深める有意義な一日になったのでは」と喜びの言葉を伝えました。



▲臨時庁議の最後に思いを伝えるウィリアムス大佐（右から2人目）

東北電力職員が地域イベント前後にボランティアで清掃活動

5月30日

「訪れた人々に気持ちよく楽しんではほしい」と、東北電力（株）三沢営業所職員が地域イベント前後のボランティア清掃活動を始めてから今年で10年目。『三沢アメリカンデー』開催を2日後に控えたこの日も、有志職員約30人が集まり、始業前の時間を使って、オープニングパレードコースの一部やその周辺の歩道、なかよし公園などを清掃しました。同営業所の金澤所長は「少しでも地域の皆さんに貢献したいという思いで続けてきました。これからも、お役に立てるよう継続していきたいです」と話していました。



「主婦が幸せに暮らせる街ランキング」で三沢市が北海道・東北ブロック1位

5月27日

（株）学研パブリッシングが『aene（アイーネ）』の創刊に先駆け全国の主婦を対象に行った調査で、三沢市が「主婦が幸せに暮らせる街ランキング」全国順位12位、北海道・東北ブロック第1位に選ばれました。このランキングは日常生活における幸せ度を、暮らし、家族、お金、食事・健康、モノ・趣味の5つの指標で点数化・順位付けしたもの。三沢市は特に「健康・美容」の意識や満足度が高かったとのことでした。



スターゼン三沢工場が増築。市施設との連携による食肉処理加工能力が日本一に

5月29日

誘致企業のスターゼンミートプロセッサー（株）が機能集約と生産能力向上を図り、総事業費20億円を投じて、主に豚肉加工品を生産する青森工場三沢ボーカセンターを増築。延床面積2,374m²の増築部分に、豚肉の加工ラインや内臓肉を処理する副生物処理室、豚脂などの洗浄を行う副産物処理室、加工肉を自動で仕分ける冷蔵・冷凍庫を新設しました。最新機械導入による自動化などで、今まで以上に迅速な出入庫が可能となったほか、関連会社と併せて24人を新規雇用するなど地域経済にも大きく貢献。さらに、昨年9月に大規模改修された市食肉処理センターと連携することで、1日当たりの最大処理頭が1,300頭から2,300頭と大幅に増加し、日本一の食肉加工処理能力を有することとなりました。

5月29日、細谷工業団地の工場敷地内で行われた竣工式には、同社の茂原社長と種市市長、上北地域県民局の三上局長や市食肉処理センター養豚生産者協議会の山崎会長など関係者約70人が列席。安全な操業とさらなる事業発展を祈念する神事が執り行われた後、茂原社長は養豚業者や市など関係者の協力に対する感謝を伝え、今後ますますの発展を誓っていました。



▲増築された三沢ボーカセンターと、施設内に新設された豚肉の加工ライン（右上）

イクメン・カジダン育成事業
WOMEN'S VISION (ウィメンズビジョン)

男女共同参画の啓発を図ることを目的に、子育て世代の男性を対象とした、家事・育児の中でも楽しく取り組めるクッキング講座を開催。

事業費総額 41万3千円
補助予定額 37万1千円

三沢バスケ festa!! 3on3 バスケットボールJCカップ
公益社団法人 三沢青年会議所

総合体育館で「バスケットボールJCカップ」を開催。地域に根差したプロバスケットチーム「青森ワツツ」と手を取り、スポーツを通して、地域の発展および青少年の育成に寄与する。

事業費総額 68万円
補助予定額 50万円

INVITE

協働のまちづくり市民提案事業を二次募集します

対象団体 ①市内で活動している市民公益活動団体
②まちづくり活動を自主的・主体的に行うことを会則、規約などに定めている団体
③構成員が5人以上の団体（※個人は対象外）

実施期間 決定をした日から平成27年3月末日まで

対象となる事業

- ▶市内で実施する事業
- ▶地域社会の発展または課題の解決が期待できる事業
- ▶事業効果が市内に波及する事業
- ▶実施計画および収支計画が明確である事業 など

補助金の区分

- ①活動スタート事業（全額補助、上限額10万円）
活動開始からおおむね1年末満の団体が取り組む事業
- ②市民提案型事業（9割補助、上限額50万円）
既に3年以上活動を行っている団体が実施する事業
- ③まちなかにぎわい事業（9割補助、上限額200万円）
地域の活性化や集客効果のある事業など

審査方法 書類およびプレゼンテーション審査（9月実施）

募集期間 7月14日（月）～8月29日（金）

※応募前に事前相談が必要です。事前相談は随時受け付けていますので、応募の1週間前までにご連絡ください。

応募・問い合わせ先 広報広聴課（内線215）

大空のまちづくりフォーラム「あの日あの時！ミサワ航空史」
特定非営利活動法人 テイクオフみさわ

「大空のまちづくりフォーラム」を開催。併催企画として、三沢飛行場の歴史写真展や三沢飛行場飛来機（模型）の展示等を企画する。フォーラム参加者は特別入場料を無料に。

事業費総額 39万3千円
補助予定額 26万3千円

小川原湖森のようちえん
小川原湖自然楽校

「森のようちえん」を実施し、3歳～6歳の未就学児の自然体験を普及・啓発する。また、子育て中のお母さんたちの出会いの場を創出するため、「子育てママのほっこりCafé」の開催を計画。

事業費総額 78万2千円
補助予定額 50万円

地元の旬の食材を使った楽しい食育ってどう？
(自称) 三沢バーベキュー協会

地元の旬の食材で、BBQの技法を用いた調理方法や素材の選び方を学ぶ、「BBQ食育講座」を開催する。

事業費総額 81万円
補助予定額 50万円

北三沢の地域活性化事業
北三沢地区コミュニティ活性化協議会

日米の子どもから大人までが参加する「盆踊り」と「正月遊び」を実施し、北部地区町内会の活性化と町内会同士の結束力を高める。また、地域で問題となっている、悪臭に対する検討を行う。

事業費総額 50万円
補助予定額 44万2千円

市民活動団体が自主的・継続的に取り組む事業を応援します

平成26年度「協働のまちづくり市民提案事業」10事業が決定

『協働』による事業の進め方には、経費の補助や助成、共催、後援、委託など、さまざまな形があります。その中の一つとして三沢市でも行っているものが、市民団体の方々が提案した事業に対して補助金を交付する『協働のまちづくり市民提案事業』です。市民団体の活動促進や、団体同士のネットワーク構築、団体の活動状況を情報発信するなど、継続してまちづくりに取り組む団体の活動を支援することを目的としています。平成21年度に始めてからこれまでに、延べ24団体がこの事業を利用して、さまざまな市民活動を展開しています。

今年度は、4月1日から30までの期間で提案を募集したところ、10団体が応募。学識経験者や経済団体からの推薦者、市職員など12人で構成する審査委員によって、厳正な書類およびプレゼンテーション審査が行われた結果、全ての事業が採択されました。

これらの事業は来年3月末までに実施される予定で、その様子は、市ホームページなどで随時、お知らせしていきます。

市民提案事業についての問い合わせ先 広報広聴課（内線215）



▲5月26日に行われたプレゼンテーション審査の様子

『地産地食』推進事業
JA おいらせ特産加工開発研究会 あ根っこくらぶ

みさわ七夕まつりに商店街の一画を借り、三沢の野菜や加工品などの紹介や販売を行う。また、農産物の食べ方・調理法レシピを配布しながら野菜の地産地消を推奨する「青空料理教室」を開催。

事業費総額 73万円
補助予定額 50万円

子どもカメラマンの夏！プロジェクト
Misawa アートプロジェクト

カメラを片手に子どもたちが三沢を駆け巡る！子ども視点で地域の資源や課題を見つめ直すと同時に、「子どもも写真コンテスト」を開催。最後には親子の冒險キャンプも開催する。

事業費総額 222万3千円
補助予定額 200万円

さつき・あじさいロード整備事業
航空自衛隊三沢基地OB会

サイクリングロード沿線のサークルK浜三沢店から市民の森方向へ、三沢市の花である「さつき」と「あじさい」を植樹し、「さつき・あじさいロード」の整備を進める。

事業費総額 75万4千円
補助予定額 50万円

アウトドアを起点とした観光連結事業
小川原湖ロマン会議

観光事業・関係者および地域住民を対象としたカヤック体験会を開催。また、まちなか拠点の整備、情報発信の充実、カヤック大会の開催などを予定。

事業費総額 260万4千円
補助予定額 200万円

平成 26 年度 三沢市職員採用試験案内

総務課（内線 207・208）

平成 27 年 4 月 1 日以降採用

試験職種および受験資格等

試験職種	採用予定人員	受験資格
一般事務	大学卒業者	7人程度 昭和 60 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、大学卒業者（卒業見込者を含む）
	短大・高校卒業者	1人程度 昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、高等学校または短期大学卒業者（卒業見込者を含む）並びに高等学校卒業程度認定試験合格者
	英語通訳	※以下の条件を全て満たす者 ▶昭和 60 年 4 月 2 日以降に生まれた者で大学卒業者（卒業見込者を含む） ▶次のいずれかの資格等を有する者 TOEIC 860 点以上、TOEFL(ibt) 100 点以上、実用英語検定 1 級、国連公用英語検定 A 級以上
一般技術（土木）	2人程度	昭和 60 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、大学において土木の技術課程を修めて卒業した者（卒業見込者を含む）
一般技術（建築）	1人程度	昭和 60 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、大学において建築の技術課程を修めて卒業した者（卒業見込者を含む）
保健師	2人程度	昭和 60 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、保健師の免許を有する者（平成 27 年 4 月 30 日までに免許取得見込みの者を含む）
消防士	2人程度	①昭和 60 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、大学卒業者（卒業見込者を含む） ②昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、高等学校または短期大学卒業者（卒業見込者を含む）並びに高等学校卒業程度認定試験合格者
看護師および助産師	25人程度	昭和 45 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、看護師または助産師の免許を有する者（平成 27 年 4 月 30 日までに免許取得見込みの者を含む）
薬剤師	1人程度	昭和 50 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、薬剤師の免許を有する者（平成 27 年 4 月 30 日までに免許取得見込みの者を含む）

※上記にある「卒業見込者」とは、平成 27 年 3 月末に卒業見込みの者

第 1 次試験日および試験の種類

試験月日	試験の種類
9月 21 日（日）	教養試験（看護師および助産師以外）、適性検査（一般事務と保健師、消防士のみ）、専門試験（一般技術と看護師および助産師のみ）
9月 20 日（土）～22 日（月）のうち市が指定する日	面接試験（全職種）

試験会場

市役所会議室、公会堂、市立三沢病院会議室 他

書類請求申込

7月 1 日（火）から以下の申し込み先で配布する採用試験受験申込書等に必要事項を記入して、お申し込みください。
申込書は市ホームページからもダウンロードできます。また、請求と申し込みは郵送でも対応できます。

申込受付期間

8月 1 日（金）～14 日（木）

※いずれも 8:15～17:00（土・日・祝日は除く）



書類請求・申し込み先と問い合わせ先（※書類請求の際は、必ず希望する職種をお知らせください）

【一般事務、一般技術、保健師、消防士】に関しては…

三沢市役所 総務部総務課人事管理係（☎ 53-5111 内線 207・208）〒 033-8666 三沢市桜町一丁目 1-38

【看護師および助産師、薬剤師】に関しては…

三沢市立三沢病院 管理課庶務会計係（☎ 53-2161 内線 2121）〒 033-0022 三沢市大字三沢字堀口 164-65

「グローバル人財養成セミナー 2014」受講生を募集します

政策調整課（内線 532）

青森県と三沢市では、世界的な視野を持ってチャレンジしていく若い人財を育成するため、各種講座や当市の特色を生かした交流プログラムにより、国際的な感覚や意識を身に付けることのできるセミナーを開催します。



期日と内容

第1回	9月 27 日（土）～28 日（日） ▶世界、日本を知る講座 講師／国際大学研究所 副学長 信田智人氏 ほか ▶三沢市在住外国人との対話交流 ▶コミュニケーション能力向上講座 ほか 講師／三沢基地内メリーランド大学教授
第2回	10月 25 日（土）～26 日（日） ▶世界、日本を知る講座 講師／在札幌米国総領事館 首席領事 ジョエレン・ゴーグ氏 鹿児島国際大学 ジェフリー・アイリッシュ氏 パスファインダーズ・ジャパン 代表取締役社長 テルミ・ラスカウスキー氏 ▶コミュニケーション能力向上講座 ほか
第3回	12月 13 日（土）～14 日（日） ▶コミュニケーション能力向上講座 ▶フィールドワーク（英語を活用した実践など） ▶世界、青森を知る講座 ほか 講師／県内グローバル企業代表 ほか

会場 国際交流教育センター

対象 県内在住の 20～30 代の学生および社会人で、原則として 3 回全てに参加できる方
※学生は、県内に実家があり、県外大学等に在籍する方も含みます。
※語学力は問いませんが、英語のみで進められる講座も予定しています。

受講料 各回 5,000 円（食費、宿泊料含む）

定員 30 人（先着順）

申込締切 8月 29 日（金）

申し込み・問い合わせ先

青森県地域活力振興課（☎ 017-734-9133）または市政策調整課（内線 532）

※募集内容や申し込み方法など、詳細については…

青森県庁ホームページ [人財きらめく青森県](#) 検索

姉妹都市交流事業

ボランティアスタッフを募集！

国際交流課（☎ 51-1255）

姉妹都市ウェナツチバレーから 8 月に訪れる、友好親善使節団の活動をサポートするボランティアスタッフを募集します。

活動内容

ホームステイボランティア	ホームステイを通じて日本文化への理解を深めるサポート
語学ボランティア	通訳やガイドのサポート
パレードボランティア	三沢まつりの中日に行われるパレードのサポート

申し込み・問い合わせ先 国際交流課（☎ 51-1255）

「市長と一緒に パートナーサロン」開催団体を募集します

広報広聴課（内線 215）

まちづくりに関する建設的な意見や提案について、市民の皆さんと市長が意見を交わす「市長と一緒に パートナーサロン」を開催する団体を募集します。仲間と一緒にまちづくりへ参画してみませんか？



対象団体 市内を活動場所とするおおむね 10 人以上の団体またはグループ

日時・場所 ご応募いただいた団体と調整して決定（開催時間は 1 時間 30 分程度）

内容・テーマ ご応募いただいた団体が決定（健康、医療、福祉、防災、環境、教育、国際交流、観光、産業、交通など）

申込方法 広報広聴課に設置および市ホームページに掲載する申込書へ必要事項を記入し開催時期のおよそ 1 ル月前までにお申し込みください。

募集期間 平成 27 年 2 月 28 日（金）まで（随時受付）
※意見交換の様子や要旨は、後日、市ホームページで紹介します。

応募・問い合わせ先

広報広聴課（内線 215）FAX 52-5655
〒 033-8666 三沢市桜町 1 丁目 1-38
E メール koho@city.misawa.lg.jp

2014年
7月
番組表

7月7日
8月6日

※その日放送される「マックニュースライン」市内の出来事はデータ放送で確認できます。
※予告なく番組が変更されることがあります。
※初回放送
※N:マックニュースライン
※天気予報

和気あいあいと交流深め、健康増進 三沢市民グラウンド・ゴルフ大会 6月8日

朝から小雨が降るあいにくの悪天候にもかかわらず、小学1年生から高齢者まで、幅広い世代の約90人が市民の森陸上競技場に集まり、グラウンド・ゴルフ大会に参加しました。

本大会では、4～5人が1組となり計24ホールをプレー。初対面の人と一緒に成了った組も、最初こそぎこちなかつものの次第に打ち解け、「ナイスショット!」「惜しい!」と応援し合いながらプレーを進めていました。成績や技術向上もさることながら、参加者同士の交流や健康増進は、この大会の大きな魅力。グラウンドゴルフを通して、体力増進や認知症予防を兼ねた世代間交流を和気あいあいと楽しんでいました。



▲「健康や認知症予防のためにもい」と競技を楽しむ参加者たち

科学の面白さや学ぶ楽しさを実感! クエスタコン・サイエンスサーカスツアー 5月21日

クエスタコン（オーストラリア国立科学技術センター）が「科学の楽しさを伝えることで夢や希望を育み、元気を与える」と『2014サイエンスサーカスツアー ジャパン』を開催。共催者の日本科学未来館とともに東日本大震災の被災地を巡回し、三沢市では5月21日から5日間かけて、小学校などでサイエンスショーを実施しました。

三沢小学校を訪れたクエスタコンのパトリックさんとルネさん、日本科学未来館と県立三沢航空科学館のスタッフは、パイプやチューブ、車輪などを使った実験を披露。参加した同校と三川目小学校の児童たちは、その不思議な現象に目を丸くして驚き、改めて科学の面白さを感じていました。



▲クエスタコンのルネさん（左）が見せる不思議な科学実験に驚く児童たち

会場一体となり彩豊かな音色を楽しむ 三沢高等学校吹奏楽部定期演奏会 6月8日

県立三沢高等学校吹奏楽部が、公会堂大ホールで定期演奏会を開催。『彩』をテーマに、日々の活動の中で抱いてきた思いを、さまざまな輝き放つ音色として表現しました。

まず最初に全日本吹奏楽コンクール課題曲などを厳かに奏でた部員たちは、続くディズニーステージで一転。大人から子どもまで誰もが知る名曲を華やかに演奏しました。そして、ポップステージでは、部員自らが出演する劇に合わせ、場面各所を盛り上げるように曲を披露。Jポップを中心としたメドレーと各パートのソロ演奏に会場一体となって音楽を楽しみ、最後に部長の相場瑠美さん（3年）が感謝と決意の思いを伝えると、会場からは大きな拍手が贈られていました。



▲体全体を使い、迫力の演奏を見せた演奏会のクライマックス

奉仕団が心を込め作った料理に舌鼓 春の一人暮らし高齢者会食会 5月30日

三沢市赤十字奉仕団は、春と秋の毎年2回、市民の森老人福祉センターを会場に、75歳以上の一人暮らし高齢者を対象とした会食会をボランティアで開催。今回は、29人の参加者が、奉仕団員の手作り料理と歌や踊り、カラオケなどを楽しみました。普段は一人で食事することの多い参加者が、他の参加者や奉仕団員と会話し、親睦を深めることができるのも、会食会の魅力の一つ。バランスや彩りも考え、心込めて作られた料理に舌鼓を打った参加者たちは「すごくおいしい」「（まるで）正月が来たみたいだ」と喜びの声を上げ、初めて参加したという高齢者も「忘れられない食事になりました」と笑顔を見せっていました。



▲奉仕団員の心の込もった料理に笑顔を見せる参加者たち

出来事通信

できごと
つうしん

多くの人に見守られ輝く姿

三川目小学校 大運動会

5月24日

創立130周年を迎えた今年のスローガンは『全力尽くして優勝を目指せ!!～一人ひとりが輝く130年目の運動会～』。絶好の運動会日和となったこの日、早朝から先生・保護者が準備を整えた三川目小学校のグラウンドに、多くの保護者や来賓が駆け付けました。成長した姿

を記憶と記録に残そうと保護者や地域の人々が見守る中で、全

校41人の児童は堂々と入場行進を披露。さらに、徒競走やテクニカル走、リレー走など、たくさんの競技で生き

▲タイムカプセルから思い出の品を手に取り振り返る当時の児童たち



生きとした姿や表情を見せていました。

また今回は、130周年記念事業の一つとして、プログラムの途中に『タイムカプセル掘り起こしぜレモニー』を実施。関係者が見守る中、今から27年前に同校創立100周年を記念して敷地内に埋められた容器が、次々と掘り起こされました。今では親の世代となった当時の児童たちは、開封された容器の周囲に集まると、自分や同級生の名前が書かれた品々を手に取り懐かしそうに目を細め、思い出を語り合っていました。

日米合同で育む「自立できる力」

日米子どもクラフトジャンボリー

5月18日

県内でも最多の会員数を誇る三沢市のガールスカウト青森県第3団が、スカイプラザミサワを会場に、三沢基地ガールスカウトと合同でイベントを開催。日米のガールスカウトメンバーと、会場を訪れた家族連れなどの参加者、合計およそ100人がクラフト作りに挑戦しました。

今回のクラフトは、エコをテーマに全部で8種類。ペットボトルキャップや洗濯ばさみなど、身近にある材料から、日米それぞれの文化にちなんだおもちゃや飾りなどを製作。ガールスカウトのメンバーは、うまく作れず困っている参加者に率先して教えるなど、言葉や文化の違いを越えて「自分たちで解決する力」「自立できる力」を育んでいました。



▲熱心にクラフト作りに取り組む、日米ガールスカウトのメンバー

公園で気軽に健康づくりはいかが?

健康遊具の使い方講習会

5月18日

市は今年1月、『地域の元気臨時交付金』を利用し、市内で初めて松園公園内に健康づくりのための遊具13基を設置。この日、市主催の『健康遊具の使い方講習会』に参加した松園町一丁目町内会の人々約30人は、高齢者体力つくり支援士マスターの資格を持つ㈱コトブキの中野氏から、公園でもできる体力増進運動や、設置した健康遊具の使い方を教わりました。

最初はおそるおそるだった参加者も、中野氏の教えに従い、使い方や体への効果を確かめるように健康遊具を体験。最後には、「これはいい」と感想を話しながら、楽しそうに健康づくりへの意欲を高めしていました。



▲楽しそうに健康遊具を体験する町内会の人々

お知らせ

CO₂削減ライトダウン
七夕の夜に温暖化対策を

全国を対象に、施設や家庭での消灯を呼び掛ける「CO₂削減／ライトダウンキャンペーん」を実施します。

全ての照明を消し、普段いながらできる地球温暖化対策を考えてみましょう。

（任意の1時間以上）

東日本大震災で被災した方へ

震災により滅失または損壊した家屋の所有者などが、それに代わる家屋、または敷地用の土地を平成33年3月31日までに取得した場合、それぞれ軽減されます。

自動車取得税等の非課税措置

自動車（軽自動車含む）の自動車取得税および自動車税（軽自動車税）が非課税になります。

日本赤十字社青森県支部

社会資本・社員加入のお願い

震災により滅失・解体した自動車の代替として、平成28年3月31日までに取得した自動車（軽自動車含む）の自動車取得税および自動車税（軽自動車税）が非課税になります。

（内線279）

戦後海外から帰還された方へ

戦後、海外から引き揚げられた方々からお預かりしてお問い合わせください。

（内線313）

保管証券類をお返しします

お問い合わせください。

（内線3310423）

広告

広告

環境衛生課

（内線279）

上北地域県民局県税部

（内線2314241）

「生活安全課内」

日本赤十字社三沢地区

（内線313）

八戸税関支署

（内線017813310423）

統括監視部門

（内線313）

みさわ情報ねっと

市役所 ☎ 53-5111

問い合わせ先 申込み先 開催場所

市民無料相談

- 法律相談（法テラス青森主催） 2日(木)・16日(木)・30日(木)
8月6日(木)
13時～16時
問 法テラス青森（☎ 050-3383-5552）
場 市民相談室 ※要電話予約・先着6名・受付条件あり
- 法律相談（社会福祉協議会主催） 8日(火)
13時～16時
問 社会福祉協議会（☎ 52-3270）
※要電話予約・先着6名
- 法律相談（市主催） 22日(火)
13時～16時
問 広報広聴課（内 345）
場 市民相談室 ※要電話予約・先着6名
- 人権・行政相談 14日(月)
10時～15時
問 広報広聴課（内 345）
場 市民相談室
- 人権・困り事相談 10日(木)・24日(木)・8月7日(木)
9時30分～15時
問 人権・困り事相談所（☎ 52-7083）
場 市民活動ネットワークセンターみさわ（旧ふれあいの館）
- 教育相談 毎週月～金
8時15分～16時
問 國際交流教育センター内教育相談室（☎ 53-6060）
- 家庭児童・婦人相談 每週月～金
9時～16時
問 家庭福祉課（内 381）
- 育児・子育て支援相談 毎週月～金
9時～16時30分
毎週土
問 三沢地域子育て支援センター（☎ 53-1176）
びこりんパーク（☎ 53-7772）
子育てサロン ミルキールーム（☎ 51-1512）
- 育児・子育て支援相談 每週月～金
9時～16時30分
問 みさわファミリーサポートセンター（☎ 50-1518）
- 消費者生活相談 每週月～金
9時～17時30分
土・日・祝
問 県消費生活センター（☎ 017-722-3343）
- 警察安全相談 隨時
電話相談可
問 三沢警察署総務課（☎ 53-3145 内 217）
- 犯罪被害者支援相談 每週月～金
9時～16時30分
問 青森県地方検察庁被害者ホットライン（☎ 017-722-1234）
- がん・緩和ケア・医療相談 每週月～金
9時～16時
問 三沢市立三沢病院地域医療連携室内（☎ 51-1375）
- 介護・福祉相談 每月第2火
10時～12時
問 三沢市立三沢病院地域医療連携室内（☎ 51-1375）

上十三・十和田湖広域定住自立圏内で開催されるイベントなどの情報をお知らせします。

ぐるっとNAUI

上十三・十和田湖広域定住自立圏情報

十和田市 奥入瀬ろまんパークフェスティバル

チビッコよさこいや郷土芸能フェスティバルが開催されます。また、先着100人に『のむヨーグルト』をプレゼント！

期 間 7月5日(土)・6日(日)

場 所 道の駅奥入瀬ろまんぱーく

★問い合わせ先 奥入瀬ろまんぱーくフェスティバル 実行委員会（☎ 0176-72-3201）

第49回 十和田湖湖水まつり

夜空に輝く花火と湖畔に映し出される光のハーモニーを楽しめます。

期 間 7月19日(土)・20日(日)

場 所 十和田湖畔休屋 中央広場

★問い合わせ先 十和田湖湖水まつり実行委員会（☎ 0176-75-2425）

第2回 「高森山カップ」パークゴルフ大会

日 時 7月19日(土) 13:00～(受付 12:40～)

場 所 高森山総合運動公園パークゴルフ場

参 加 料 1,000円

申込締切 7月13日(日)

★申し込み・問い合わせ先 NPO法人十和田市サッカー協会（☎ 0176-20-6100）

六戸町 サマーフェスティバル2014

六戸町の短い夏をアツく楽しむためのビアガーデンイベント。『囃子やー』によるお囃子太鼓ステージのほか、各種ステージショーやビンゴ大会など盛りだくさん！見て、飲んで、食べて、楽しもう！

日 時 7月25日(金)
17:00～21:00
7月26日(土)
15:00～20:00

場 所 六戸町総合体育館西側駐車場

★問い合わせ先 六戸町観光協会 [六戸町役場産業課内]（☎ 0176-55-3111 内線 154）

野辺地町 のへじ花火大会

のへじ祇園まつりで催されていた花火大会を今年は常夜燈フェスタの前日に開催！ 夏休み最初の花火大会は、ぜひ野辺地町で！

日 時 7月19日(土) 19:30～

場 所 野辺地町潮騒公園

★問い合わせ先 野辺地町商工会（☎ 0175-64-2164）

2014 常夜燈フェスタ

海運で栄えてきた野辺地町の基盤を今に伝える史跡『常夜燈』をテーマに、特産物や郷土料理、観光などを堪能でき、ステージイベントも多彩！ 屋台村、みそ貝焼きの大型鉄板料理実演と無料提供も行われます。

期 間 7月20日(日)

場 所 野辺地町潮騒公園

★問い合わせ先 常夜燈フェスタ実行委員会事務局 [野辺地町地域戦略課内]（☎ 0175-64-2111）

東北町 東北町湖水まつり

わかさぎマラソン大会、創作花火、手作りいかだレース、Yosakoiなど、さまざまなイベントが行われます。

日 時 7月26日(土)・27日(日)

場 所 小川原湖公園・わかさぎ公園

★問い合わせ先 東北町役場 商工観光課（☎ 0176-56-4148）

おいらせ町 おいらせ軽トラ市

軽トラックの荷台を店舗に見立てた直販です！ 野菜や果物、手作り工芸品を販売するほか、新商品のPR・キャンペーンも予定しています。

日 時 7月～11月の各第1日曜日 8:00～13:00

場 所 百石本町商店街 中央町

★問い合わせ先 おいらせ軽トラ市実行委員会事務局 [おいらせ町商工会内]（☎ 0178-56-2511）

六ヶ所村 ふるさと新鮮朝市

とれたて野菜や新鮮な海産物、それを使った加工品などを販売します。村外の方も出店でき、出店料は無料です。

日 時 7月12日(土)・26日(土) ※第2・4土曜日
7:00～9:00 (売り切れ次第終了)

場 所 12日／泊地区イベント広場
26日／スワニーイベント広場(尾鷲地区)

★問い合わせ先 六ヶ所村商工会（☎ 0175-72-2331）

催し

航空科学館イベント情報
みさわおもちゃ病院

壊れたおもちゃを子どもたちの目の前で修理して、新たな命を吹き込みます。

とき 7月20日(日)10時～12時(診断時間は20分程度)

ところ エントランス ホール2階

参加料 無料
※ただし、部品交換した場合は部品代として50円～300円、入院した場合は1件につき100円が必要)

▼問 県立三沢航空科学館
(☎50-17777)

夏の交通安全市民総決起大会
ご参加をお待ちしています

7月21日(月祝)～31日(木)の期間で実施される夏の交通安全県民運動に合わせ、市民総決起大会を開催します。

当団は、カトリック幼稚園の園児が交通安全宣言を行ない、上久保小学校吹奏楽とバントワーリングスポーツ少年団が演奏・演技を披露します。

とき 7月23日(水)14時～

ところ 公会堂 大ホール
入場料 無料

夏の交通安全課
(内線316)

夏の交通安全部民総決起大会
ご参加をお待ちしています

7月21日(月祝)～31日(木)の期間で実施される夏の交通安全県民運動に合わせ、市民総決起大会を開催します。

当団は、カトリック幼稚園の園児が交通安全宣言を行ない、上久保小学校吹奏楽とバントワーリングスポーツ少年団が演奏・演技を披露します。

とき 7月23日(水)14時～

ところ 公会堂 大ホール
入場料 無料

夏の交通安全課
(内線316)

お気軽にお相談ください

県立八戸盲学校と県立八戸聾学校では、上十三地域の主に視覚や聴覚に障害のある乳幼児、児童生徒、成人および関係者を対象に、各種相談活動や情報提供を行います。事前にお申し込みください。

とき 7月3日、8月7日
1月29日の(木)
13時30分～17時

ところ 保健相談センター
参加料 無料

▼申問 県立八戸盲学校 教頭
(☎0178-43-3962)
(FAX 0178-43-3942)

市民の森趣味の家ふるさと塾
とき 7月21日(月祝)
①9時～②13時～

ところ 趣味の家 陶芸室
受講料 500円
定員 各親子10組(先着順)
申込締切 7月17日(木)
※8月15日(金)(抽選)、23日(土)(引渡し)に参加可能なこと

市民の森ウォーキング
小川原湖周辺の遊歩道を散策しながら鳥の声を聴こう。

講座・教室

盲・聾学校「サテライト教室」
お気軽にお相談ください

県立八戸盲学校と県立八戸聾学校では、上十三地域の主に視覚や聴覚に障害のある乳幼児、児童生徒、成人および関係者を対象に、各種相談活動や情報提供を行います。事前にお申し込みください。

とき 7月4日、10月9日
12月25日、平成27年
1月29日の(木)
13時30分～17時

ところ 保健相談センター
参加料 無料

▼申問 県立八戸盲学校 教頭
(☎0178-43-3962)
(FAX 0178-43-3942)

市民の森趣味の家ふるさと塾
とき 7月21日(月祝)
①9時～②13時～

ところ 趣味の家 陶芸室
受講料 500円
定員 各親子10組(先着順)
申込締切 7月17日(木)
※8月15日(金)(抽選)、23日(土)(引渡し)に参加可能なこと

市民の森ウォーキング
小川原湖周辺の遊歩道を散策しながら鳥の声を聴こう。

募 集

初心者ソフトテニス教室
親子・友人と基本をマスター

会員を募集します

「ふくちゃん愛好会(腹話術)」

「ふくちゃん愛好会(腹話術)」

会員を募集します

「まるで人形が話しているみたい!」笑顔と感動を与える腹話術は脳の活性化にも役立ちます。職場やボランティア活動などに生かしてみませんか?

とき 毎月第3(土)
19時30分～20時30分

ところ 古間木高齢者
能力活用センター
年会費 無料

『命を守る報道・
キャスターの東日本大震災』
とき 8月9日(土)14時～

ところ 講師 NHKエグゼクティブ
伊藤博英氏
講師 ブアナウンサー

「だんご3兄弟」「ドコノコキノコ」など、子どもたちもよく知っている歌の特集です。生演奏でラジオ体操もやつてみよう!

とき 7月6日(日)11時～

ところ スカイプラザミサワ

とき 7月6日(日)11時～

ところ 小学生～高校生

とき 8月6日(火)13時～

ところ 小学生～高校生

とき 8月6日(火)13時～

ところ 小学生～高校生

とき 8月6日(火)13時～

ところ 小学生～高校生

わかりやすい音楽会
「じょも番組のついた特集」

「だんご3兄弟」「ドコノコキノコ」など、子どもたちもよく知っている歌の特集です。生演奏でラジオ体操もやつてみよう!

豆本を作つてみよう!
やつてみよう!

よく知つている歌の特集です。生演奏でラジオ体操もやつてみよう!

スカイプラザミサワ

とき 7月6日(日)11時～

ところ 小学生～高校生

とき 8月6日(火)13時～

ところ 小学生～高校生

「新選組の消長」

期間 9月20日(土)～11月24日(月)

入館料 高校生以上300円

小中学生50円(土)無料

※発表者を募集しています。

※観覧は自由です。

いとった本に投票します。

いつ思つた本に投票します。

いつ思つた本に投票します。

いつ思つた本に投票します。

いつ思つた本に投票します。

いつ思つた本に投票します。

いつ思つた本に投票します。

いつ思つた本に投票します。

いつ思つた本に投票します。

「新選組と廣澤安任」

幕末の動乱中に活躍し、会津藩御預かりとなつた新選組の働きと、廣澤安任ら会津藩公用人の関わりを展示解説します。

第1部 「京都守護職時代の新選組と廣澤安任」

期間 7月8日(火)～9月15日(月)

新選組の消長

期間 9月20日(土)～11月24日(月)

入館料 高校生以上300円

小中学生50円(土)無料

※7月7日(月)まで、展示替えにつき休館します。

▼申問 先人記念館
(☎59-13009)

豊かな自然と野鳥を観察

期間 7月7日(月)～7月16日(水)

入館料 幼児以下無料

※7月7日(月)まで、展示替えにつき休館します。

▼申問 仮沼自然観察会
(☎59-13009)

病院ハートフルコンサート

期間 7月13日(日)～16時

入場料 無料

※送迎バスを利用する場合は9時に市役所へ集合

▼申問 環境衛生課
(内線278)

母子家庭等の簿記講習会

受講生を募集します

母子家庭等の就業を支援する簿記3級受験講習会です。

受講料 3級受験料

申込

EVENT 寺山修司記念館フェスティバル 2014/夏

期 日	8月2日(土)・3日(日)
場 所	寺山修司記念館 屋外多目的スペースほか
13:00 ～14:00	▶蘭妖子コンサート 蘭妖子(元・演劇実験室「天井棧敷」女優)
2 日 14:15 ～15:30	▶追悼・九條今日子「九條さんの思い出(仮)」 J・A・シーザー(演劇実験室「万有引力」主宰) ×蘭妖子×佐々木英明(詩人・寺山修司記念館館長)
3 日 11:00 ～21:00	▶TERAYAMA MUSIC MUSEUM vol. 5 地元三沢で活躍する若手アーティストによるヒップホップミュージックの祭典! 10時間の野外ライブ!
2 日 11:00 ～15:00	▶寺山修司遊びの劇場 「ムシムシコロコロ・パーク Jr.」 自由と想像力とアートと遊び! 不思議と自然、経験と体験と表現! 寺山フェス恒例のファミリー大人気企画!
3 日	

★問い合わせ先 寺山修司記念館 (☎ 59-3434)

EVENT 三沢まつり

三沢まつりが始まってから今年で90周年! 町内会自作による豪華絢爛な山車14台と子どもたちの祭りばやしが市内を練り歩き、三沢の夏を盛り上げます。

23日の中日には、大仮装行列や三沢まつり流し踊り、みこしパレードの三沢国際サマーフェスティバルなど、国際色豊かな三沢ならではの催しが盛りだくさんです。

日 時 8月21日(木)～24日(日)※前夜祭21日

場 所 ミス・ビードルドーム、市内幹線道路

★問い合わせ先 三沢市商工会 (☎ 53-2175)

大仮装行列・三沢まつり流し踊り参加者募集

市内はもちろん、市外からの参加も大歓迎! 町内会、子ども会など、どなたでもお気軽に参加いただけます。

申込締切 7月31日(木)

★申し込み・問い合わせ先 三沢市商工会 (☎ 53-2175)

三沢国際サマーフェスティバル参加者募集

8月23日(土)のまつり中日に、手作りのみこしを持参の上、パレードに参加していただける団体を募集しています!

申込締切 7月23日(火)

★申し込み・問い合わせ先 先人記念館 (☎ 59-3009)



EVENT みさわ七夕まつり

今年で60周年を迎えるみさわ七夕まつり。商店街や企業、官公庁ほか各種団体が趣向を凝らし作成した、色鮮やかな七夕飾りがにぎやかさを演出! アメリカ広場など各会場では、国際色豊かなイベントも予定しています。

日 時 7月25日(金)

～27日(日)

13:00～21:00

場 所 中心商店街、アメリカ広場イベント会場 他

★問い合わせ先

三沢市商工会 (☎ 53-2175)



EVENT 夏休み自然体験教室～トレッキングに挑戦!!～

野外体験から自然と人間の関わりを考え、未知のことがらに挑戦する勇気と意志を養います。(県民カレッジ認定講座)

日 時 7月31日(木) 10:00～8月2日(土) 12:15
(2泊3日※雨天決行)

場 所 公立小川原湖青年の家、三陸復興国立公園種差海岸
主な内容 キャンプ、野外炊飯、トレッキング、ナイトハイク、ネイチャーゲーム、ネイチャークラフト

参加対象 小学校3年生～中学校3年生

定 員 30人(先着順)

参 加 料 3,500円

申込締切 7月24日(木) 12:00



★申し込み・問い合わせ先

公立小川原湖青年の家 (☎ 56-2393)

EVENT ファームフェスタ in 斗南

農業体験、畜産共進会、豪華ゲストによるステージショーなど、多数イベントを用意してお待ちしています。三沢産を中心とした野菜や牛肉の直売所、各種模擬店も出店!

家族みんなでファームフェスタを楽しもう!

日 時 8月3日(日) 9:00～15:00

場 所 道の駅みさわ斗南藩記念觀光村

▶歌謡ショー▶抽選会

▶大根掘り農業体験(1家族5本程度、要申込み)

定 員 50家族(先着順)

参 加 料 200円(当日徴収)

申込締切 (内線 523)

▶会津砲術隊による演武

▶畜産共進会

牛のお乳を搾ってみよう! / トランクターに乗ってみよう! / 牛乳を無料で配布



★問い合わせ先 先人記念館 (☎ 59-3009)

EVENT 夏休みちびっ子ヤング大会

航空自衛隊三沢基地では、基地周辺の皆さまと親睦を深めるため、基地の一部を開放したイベントを開催します。航空機の見学や北部航空音楽隊のミニ演奏会、各種ゲームのほかミニ制服試着コーナーもあります。

日 時 7月24日(木)

午前の部 9:00～11:00(8:45集合)

午後の部 13:00～15:00(12:45集合)

場 所 航空自衛隊三沢基地

(集合場所は三沢基地正門前)

対 象 基地周辺市町村に住む園児～中学生

(小学3年生以下は保護者同伴が必要)

定 員 午前・午後各150人(先着順)

参 加 料 無料



★申し込み・問い合わせ先

航空自衛隊三沢基地
第3航空団監理部広報班 (☎ 53-4121 内線 3313)

EVENT みさわ小川原湖水まつり

小川原湖の湖水開きを飾る湖水まつりが今年も開催されます。皆さん、ぜひおいでください。

日 時 7月20日(日) 9:15～

場 所 小川原湖湖水浴場周辺

▶キャラクターステージショー&握手会▶2014小川原湖ケイーン大抽選会▶フラダンスショー▶小川原湖畔でのカヌー体験▶国土交通省パネル展 他

★問い合わせ先

湖水まつり実行委員会事務局【観光協会】 (☎ 59-2311)

※小川原湖畔交通規制

湖水浴場の交通安全と水難事故等発生時の救急車両の円滑な通行を確保するため、車両通行を制限する交通規制を行います。

湖水浴場をご利用の方は、小川原湖観光センター『レークピア』裏の駐車場をご利用ください。

規制期間 7月18日(金)～8月25日(月)

規制場所 小川原湖観光センター前～コテージ前を通る湖畔沿いの市道

★問い合わせ先 湖畔管理事務所 (☎ 59-2830)

観光物産課(内線 359)



INFORMATION 滝の沢市民プールがオープンしました

期 間 9月30日(火)までの10:00～21:00

利 用 料 幼児～中学生 無料、高校生以上100円

※水温が21℃以下の場合は利用できません。



★問い合わせ先 滝の沢市民プール (☎ 52-2188)

INFORMATION 屋内温水プールは夏休み中休まず営業します

期 間 7月22日(火)～8月18日(月)

時 間 10:00～21:00

※期間中の7/22(火)と毎週月は13:00～



INFORMATION 三沢ビードルビーチを開設します

遊泳期間 7月11日(金)～9月7日(日)

9:30～16:00

★問い合わせ先 水産振興課(内線 512)



EVENT ホタル観賞会

幻想的なホタルの舞をお楽しみください。

日 時 7月19日(土) 19:30～

(雨天の場合は20日(日)に延期)

場 所 三沢公園

参 加 料 無料

※当日は、肌の露出を控えた服装で、虫よけ対策をして駐車場奥(ひょうたん池)に集合してください。

※天候状況により、ホタルを観賞できない場合があります。

★問い合わせ先 三沢市公園緑化公社 (☎ 51-2820)

LECTURE ジュニアゴルフ教室～夏休みにゴルフチャレンジ!

日 時 夏休み期間中全8回

場 所 三沢ゴルフセンター

対 象 小学生～中学生

定 員 10人(先着順)

参 加 料 協会年会費1,000円

と各回につき500円

申込締切 7月13日(日)

★申し込み・問い合わせ先 三沢ゴルフ協会 (☎ 54-2266)



食中毒が心配な季節です

梅雨の季節がやってきました。温度や湿度が高くなるこの時期は、食中毒が発生しやすくなります。普段していることでも、思わぬ食中毒を引き起こすことがあります。ポイントを押さえて食中毒を予防しましょう。

食中毒予防の3原則！ 食中毒菌を…

- 『付けない』 食材や手はもちろん、包丁やまな板などの調理器具も小まめに洗いましょう。
- 『増やさない』 調理したらすぐに食べ、保存する場合は冷ましてから冷蔵庫に入れましょう。
- 『やっつける』 肉は中心部まで十分に加熱しましょう。

食中毒予防6つのポイント

- ①食品の購入
 - ▶表示を確認する。
※生で食べる魚介類には「生食用」「刺身用」などの表示があります。
- ②家庭での保存
 - ▶買い物から帰ったらすぐに冷蔵庫に入れる。
 - ▶肉・魚は汁が漏れないように包む。
- ③下準備
 - ▶肉・魚は生で食べるものから離す。
 - ▶調理器具は洗った後、熱湯をかけておく。
- ④調理
 - ▶十分に加熱する。
※目安は中心部分が75℃で1分以上
- ⑤食事
 - ▶調理後はすぐに食べ、長時間室温に放置しない。
- ⑥残った食品
 - ▶早く冷えるように小分けにし、冷ましてから冷蔵庫で保存する。
 - ▶温め直すときは十分に加熱（75℃以上）する。
 - ▶少しでも怪しいと思ったら、思い切って捨てる。

「食中毒かな？」と思ったら…

食中毒の主な症状は、下痢、腹痛、おう吐、発熱などです。数日で症状は緩和しますが、お子さんや年配の方、抵抗力が弱っている方は重症化する恐れがあります。出血を伴う下痢や、脱水症状が強く、意識がもうろうとする場合は早急に病院で受診しましょう。

問い合わせ…保健相談センター ☎ 57-0707



7月の保健だより

南條 陽向（ひなた）くん／9カ月

休日救急診療	
7月 6日（日）	石田温泉病院 0178-52-3611
7月 13日（日）	青い森こどもアレルギークリニック 58-7400
7月 20日（日）	あいざわクリニック 58-7370
7月 21日（月祝）	得居泌尿器科医院 50-1333
7月 27日（日）	下田診療所 0178-56-3116
8月 3日（日）	こおり耳鼻科クリニック 53-3387
8月 10日（日）	さいとう耳鼻咽喉科クリニック 50-1406
※ 17時以降の夜間救急診療は当番制ではありません。	

健康診査・保健相談

内容・対象	月 日	時 間	場 所
4ヶ月児健康診査	7月 15日（火） 8月 5日（火）	受付 12:45～13:15	
*ブックスタート事業（絵本の読み聞かせや絵本のプレゼント）があります。			
6～7ヶ月児健康相談	7月 15日（火） 8月 5日（火）	受付 9:30～10:00	
9～10ヶ月児健康相談	7月 16日（水） 8月 6日（水）	受付 9:30～10:00	
1歳6ヶ月児健康診査 (平成24年11月生まれの幼児)	7月 24日（木）	受付 12:45～13:15	
2歳児歯科健康診査 (平成24年2月生まれの幼児)	7月 16日（水） 8月 6日（水）	受付 12:45～13:15	
3歳児健康診査 (平成22年12月生まれの幼児)	7月 23日（水）	受付 12:30～13:00	
▶乳幼児健診では、母子健康手帳・バスタオルなどを持参してください。 1歳6ヶ月児・2歳児・3歳児健康診査では診査票などを忘れないでください。 体調不良や感染症などのときは受診をご遠慮ください。			
▶6～7ヶ月児健康相談では、中学生のふれあい体験学習が併設されますので、ご協力をお願いします。			
栄養相談	随時受付(予約制)	8:30～16:30	
一般健康相談	月～金曜日随時	8:30～16:30	
成人 こころのケア相談	7月 8日（火） 8月 7日（木）	10:00～12:00 13:00～15:00	
電話相談			
面接相談	7月 24日（木）	10:00～12:00 13:00～15:00	
*面接は前日までに要予約 ☎ 57-0029（専用電話）			

保健相談センター

献血のお知らせ

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です

日 時	場 所
7月 13日（日） 10:00～12:00 13:00～16:00	スカイプラザミサワ (三沢基地ゲート前)
7月 24日（木） 10:00～16:00	三沢市役所
7月 27日（日） 10:00～11:45 13:00～16:00	ビードルプラザ (北側駐車場)

INVITE 『良い歯のシニアコンテスト』参加者募集

対 象 満60歳以上で次の条件を満たす方
▶口腔内が健康で、以下の本数の歯があること

80歳以上	20本以上
75歳以上	21本以上
70歳以上	22本以上
65歳以上	23本以上
60歳以上	24本以上

- ▶虫歯が完全に治療されていること
- ▶歯周疾患がないこと
- ▶歯並び、かみ合わせが正常であること
- ▶全身が健康であること

応募方法 かかりつけまたはお近くの歯科医院で、お申し込みください。

応募締切 9月 17日（水）



★問い合わせ先 上十三歯科医師会事務局 (☎ 21-5185)

MEDICAL INFORMATION 身体障害者巡回審査（整形外科）

肢体に障害をお持ちの方を対象に、医学的判定や更生相談を無料で行います。身体障害者手帳の申請（新規・再交付）を希望される方や補装具についてお困りの方は、ぜひご来場ください。

日 時 7月 11日（金）9:00～11:00

場 所 総合社会福祉センター2階

※身体障害者手帳（所有者のみ）と印鑑をお持ちください。

★問い合わせ先 家庭福祉課 (☎ 51-8772)

INFORMATION

交通事故に遭われた方は見舞金の請求を忘れずに

青森県交通災害共済組合（一日一円保険）の加入者が、交通事故や自転車事故によるけがで通院した場合、治療日数に応じた見舞金が支給されます。請求期限は、事故に遭った日から1年以内です。お気軽にお問い合わせください。（例：自転車で道路横断中に転倒し骨折、車を運転中に追突されむち打ちになど）

※平成26年度（27年3月末まで）の加入も

随時、受け付けています（会費350円）。

★問い合わせ先 生活安全課（内線316）



ぜひ、この機会にがん検診を受けましょう！

INVITE 子宮頸がん・乳がん検診の受診者を募集しています

対象となる方へ、5月に個別でお知らせしています。

対象者 子宮頸がん 20歳以上で偶数年齢の女性（無料クーポン券対象者を除く）
乳がん 40歳以上で偶数年齢の女性（平成27年3月31日時点）

検診機関

検診機関	検診項目			予約先	検診日
	乳がん	子宮頸がん	卵巣がん		
保健相談センター	○	○	○	健康推進課に申込書を提出	9月：8日(月)～11日(木),30日(火) 10月：1日(水)～4日(土),6日(月)～8日(水),21日(火),22日(水)
市立三沢病院	○	○			月～金（午前）
田辺医院	○	○		☎ 57-0777（午前）	月～土（午前）
三沢中央病院	○			☎ 57-1111	月・水・金（午前）
八戸西健診プラザ	○	○		☎ 0178-21-1717	月～金（※一部土・日も実施）

※医療機関の予約状況により、ご希望の検診日に受診できない場合があります。

検診料金 検診項目や課税状況により異なります。詳しくは健康推進課へお問い合わせください。

※転入などにより通知が届いていない方は、お問い合わせください。

★問い合わせ先 健康推進課（内線276）

広告

広告

三沢病院ハートフルコンサート
実行委員会 会長成田 俊太郎 氏
しゅんたろう

三沢高校卒業後、航空自衛隊中央音楽隊（東京）において、トロンボーン主席奏者およびソリストとして活躍。昭和58年、東京芸術大学において、指揮法および音楽理論を学ぶ。南西（沖縄市）・中部（浜松市）・北部（三沢市）の各航空音楽隊長を歴任。現在はピアニストおよびトロンボーン奏者として音楽活動を続け、市内でミュージックサロン（ピアノ教室）を主宰する。65歳。



地域で頑張る人々を紹介します

病院がある限り「癒やしの空間」にしたい

**聴衆、出演者、三沢高校ボランティア、スタッフが支え合い
三沢病院ハートフルコンサートが開催3周年**

「患者さんと家族、地域の皆さんたちと、安らぎと希望を共感し合いたい」。わずか数人の発起人の強い想いから始まつた『三沢病院ハートフルコンサート』が、今年5月で3周年を迎えた。同コンサートは、三沢病院の1階ロビーを会場に、毎月無料で開催。プロ・アマ問わずボランティアで出演する音楽家が、患者さんとその家族、地域の人々に美しい音色を届けている。しかし、毎月異なる出演者の手配や会場設営、プログラムの配布、入院患者さんの移動の補助など、少ないスタッフでの運営は困難。実行委員会会長の成田俊郎氏は、当初「続けることができるのだろうか」と不安を抱いたといふ。そんなとき、心強い味方となつたのが三沢高校ボランティア部・ボランティアバンクに所属する生徒たち。第2回からほぼ毎回、スタッフとして参加し、開催を支え続けてきた。また、回を重ね、コンサートの存在が知られるようになると、趣旨に賛同する音楽家たちから出演の申し出が多く寄せられる

ようになつた。歌、楽器、音楽ジャンルを問わず出演者の持ち味を尊重しながらも、成田氏は「患者さんが知る曲を1曲でもいいから演奏してほしい」とこだわつた。童謡や歌謡曲、懐メロなど、思い出の音楽を聴いた患者さんは、涙することも多かつたという。この演奏は、音楽を聴く機会の少なかつた人々も惹きつけ、リピーターが増加。3年間、計36回の総演奏者数は334人で、聴衆人数は延べ3千人に上る。コンサートは演奏者と聴衆との心と心の交流の場。その相乗効果が美しい音色となって響き渡り、癒やしの空間が生まれている。「患者さんたち聴衆とボランティアで参加する出演者の皆さん、三沢高校の生徒さん、そしてスタッフの『続けたい』という想いが支え合つて、続けてこられました。継続は力なり。病院がある限り、これからも音楽を楽しめる癒やしの空間にしたい」。これまでを振り返り語つた成田氏の言葉には、深い感謝と力強い意志が込められていた。

（4頁に関連記事掲載）

人口と世帯数 —5月末現在— ※（ ）内は前月との増減比較

■人口 41,485人 (+7人)・男 20,339人 (-7人)・女 21,146人 (+14人) ■世帯数 18,770世帯 (+6世帯)